

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年3月

事業所名 多機能型事業所 えーる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	2	3	1	・個室やクールダウンできるスペースが必要
	2	職員の配置数は適切である	5	1	0	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	2	2	2	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	2	3	1	各職員の理解を深めていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	4	1	1	・評価の結果を受け、業務の改善に努める。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	4	1	0	・事業所に掲示し、ホームページにも掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	1	0	4	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	5	1	0	・月一での研修の機会を設けている。確実に実施していくことが課題 である。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	0	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	0	1	5	・今後使用を検討する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	5	0	1	・支援計画を踏まえて、活動内容、支援方法を職員で検討する時間を 設ける。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	6	0	0	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	5	1	0	・長期休暇前に職員で打ち合わせし、スケジュール等の確認、保護者 へ書類を配布している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	6	0	0	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	3	1	1	・打ち合わせは行っているが、不十分な点もあり、内容を充実させる こと、実際の支援に生かしていくことが課題である。 →打ち合わせの時間や方法など検討する必要がある。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	0	1	3	・振り返りを共有する時間の確保が課題。活動の振り返りを記 録として残していき共有する。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	0	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断して いる	6	2	0	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	5	2	0	・ガイドラインについて理解を深め、活動内容へ反映させていく ことが必要。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	1	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	0	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	1	3	・医療的ケア児の利用なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1	0	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	0	3	・移行した利用児がいない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	1	4	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	1	5	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	0	2	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1	0	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	0	4	・情報共有は心がけているがトレーニングまでは行えていない。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	2	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	2	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1	0	・要望があった際は実施を検討していく必要がある。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	・対応の体制整備が不十分な面もあった。 →迅速かつ適切に対応できるように体制を整えていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0	・ホームページやSNS、お知らせなどで今後も発信していく。
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1	4	・季節の行事等、デイサービスとの連携を強化。地域の行事への参加を計画、実施していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	3	0	・職員や保護者に対してマニュアルの周知を徹底する。・職員間での共有は出来ているが保護者にまで周知できていないところがある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1	0	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	・入職時と年に1回の実施を計画している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	0	・計画に記載すべき利用者は現状ではないが、契約の際に説明している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	0	3	・アレルギーがある場合の対応等について書類作成を要す。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	1	・報告があった際に共有するようにしている。